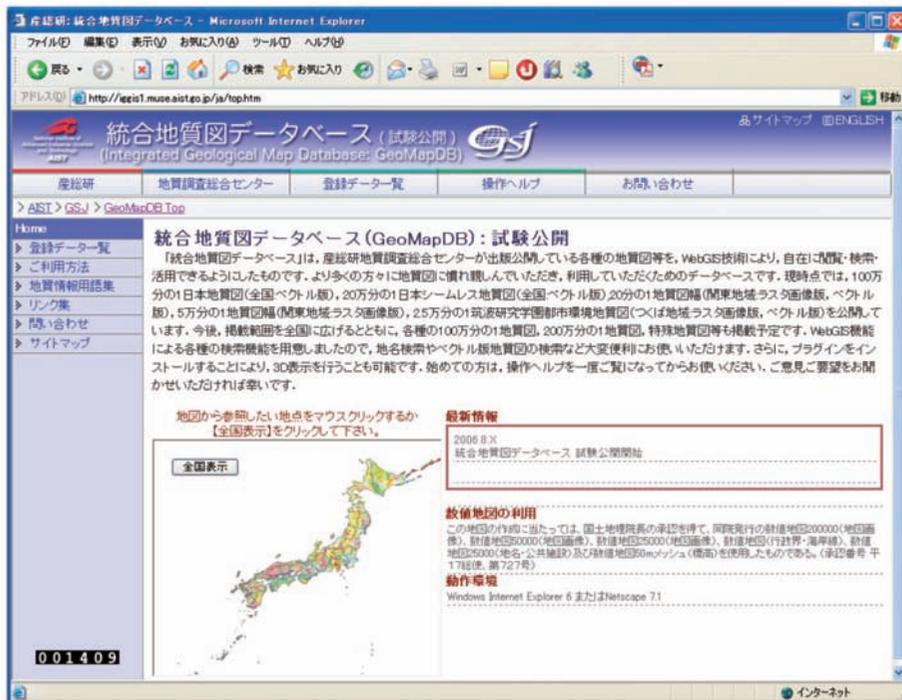
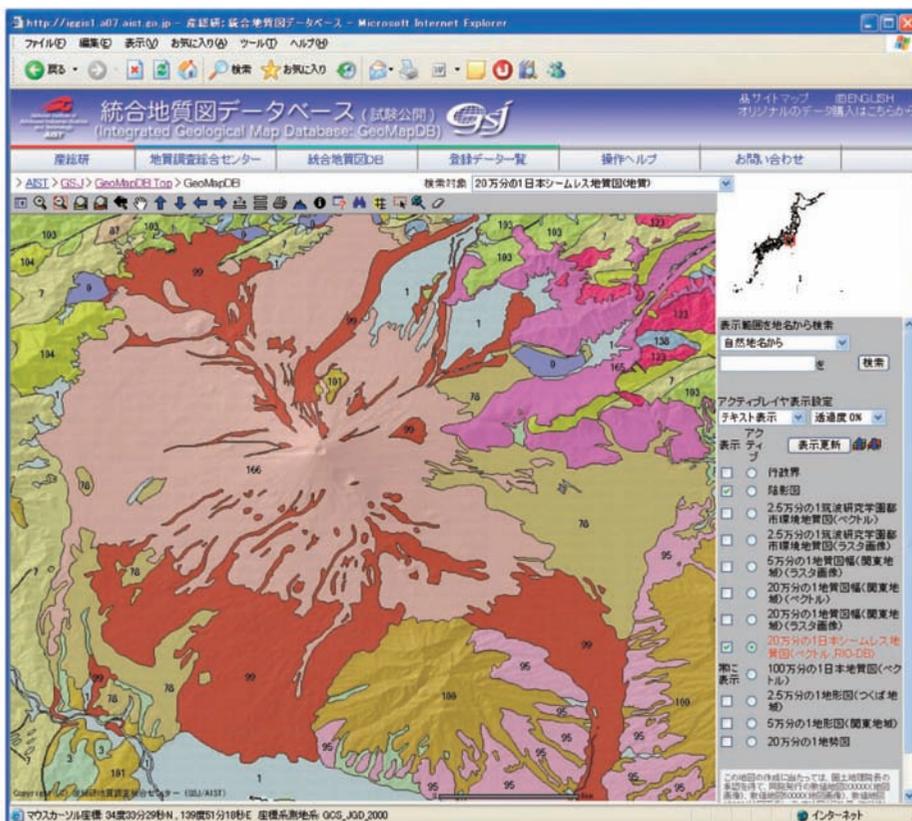


統合地質図データベース (GeoMapDB) 一般公開開始

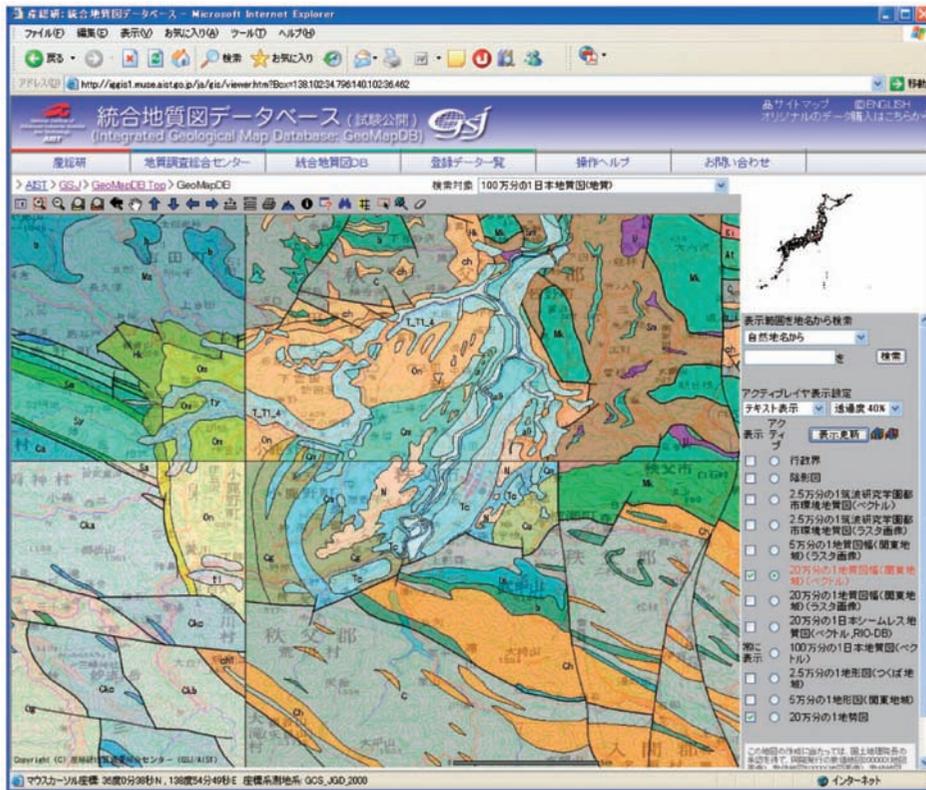
＜宝田 晋治・川畑 大作・古宇田亮一・宮崎 純一・麻植 久史・伏島祐一郎＞



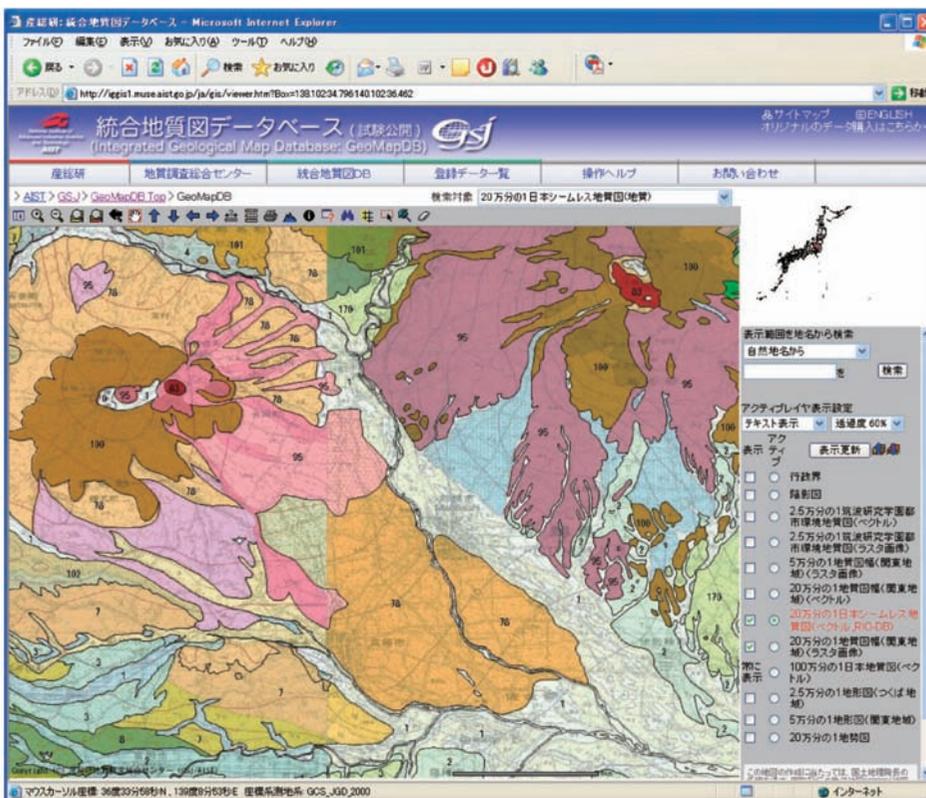
1. 2006年9月より一般公開を開始した統合地質図データベース(GeoMapDB)のトップページ。



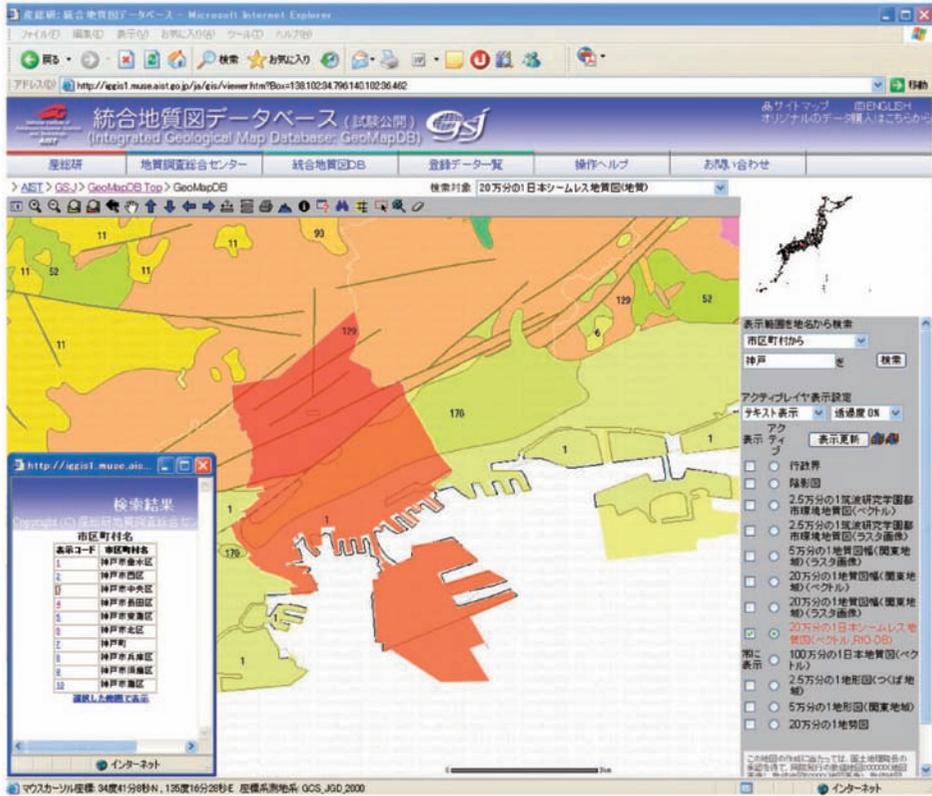
2. 20万分の1日本シームレス地質図(ベクトル版)を陰影図と重ねて表示. 富士山周辺地域。



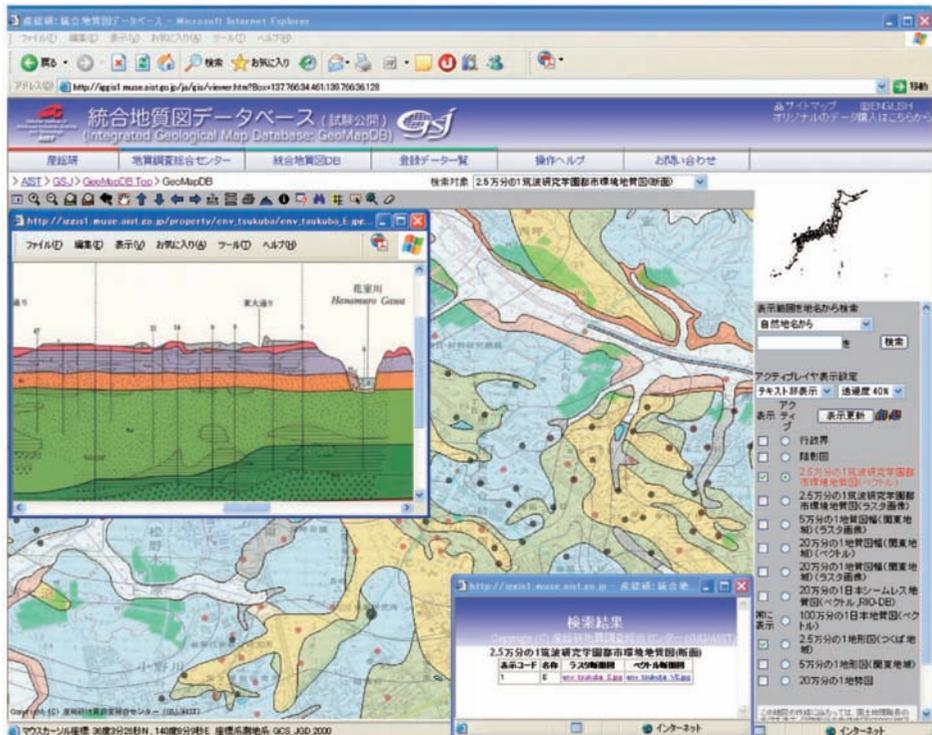
3. 20万分の1地質図幅(ベクトル版)の透明度を40%にし、20万分の1地形図と重ねて表示。秩父市周辺。



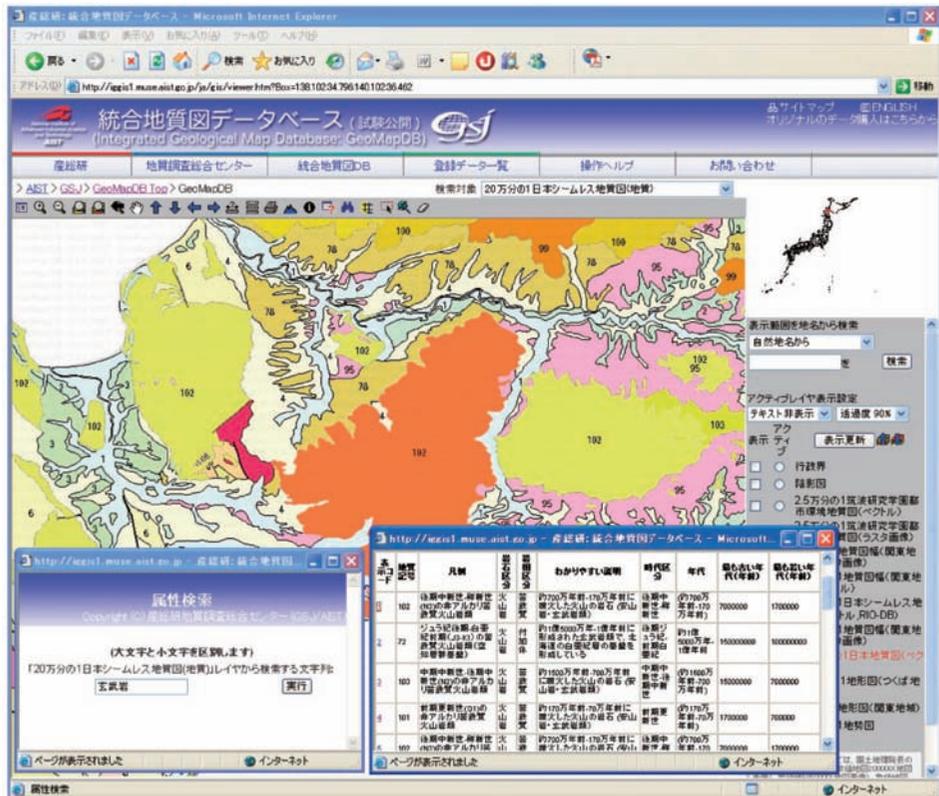
4. 20万分の1日本シームレス地質図(ベクトル版, 透明度60%)を一つ上に移動して、20万分の1地質図幅(ラスタ画像版)と比較。オリジナルの地質図との違いがよくわかる。前橋市周辺。



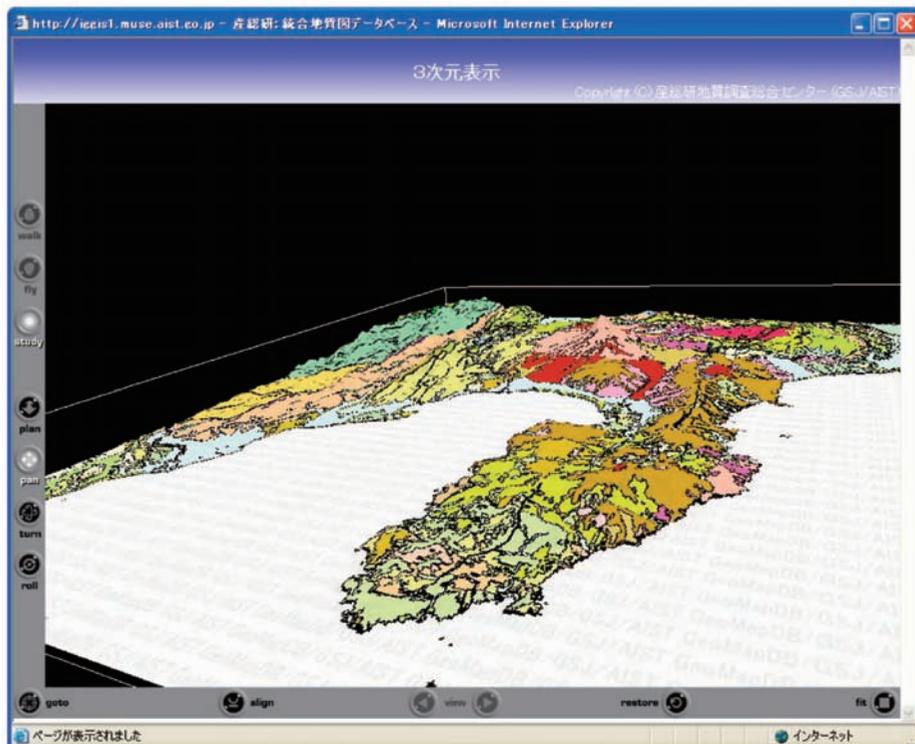
5. 地名検索機能。地名検索で「神戸」を検索した結果、該当する区域が黄色く表示される。表示コードから3番目の「神戸市中央区」を選択するとオレンジ色でハイライト表示される。



6. 2.5万分の1筑波研究学園都市環境地質図(ベクトル版)で、北東-南西方向の断面図を別画面で表示。断面図は、ラスター版とベクトル版の両方から選択できる。つくば市産業技術総合研究所周辺。



7. 属性検索ボタンで、20万分の1日本シームレス地質図から、説明の中に「玄武岩」の入った岩体を選び出した様子。黄色で表示されている。表示コードの1番目を選ぶと、北海道南西部の岩体(102)がオレンジ色で表示される。ニセコ南部地域。



8. 20万分の1日本シームレス地質図を3次元で表示。伊豆半島および富士山周辺地域。(Cortona社のVRMLプラグインParallelGraphicsを使用)。